

第 4 回 滑り軸受－巻きブシュ JIS 原案策定作業委員会 議事録

(日本機械学会：滑り軸受－巻きブシュ JIS 策定分科会)

年月日 : 2008 年 4 月 21 (月)
時間 : 13 : 00～17:20
場所 : 日本機械学会 第 2 会議室
出席者 : JIS 原案策定作業委員会 委員
染谷委員長、花房 (三矢精工)、桜井 (三協オイルレス工業)、山田 (大豊工業)
三和 (オイルレス工業)
日本規格協会 山田様 (JIS 原案策定委員会委員)
記録 : 三和

<配布資料>

- ①第 4 回 滑り軸受－巻きブシュ JIS 原案作成分科会 議案
- ②第 3 回 滑り軸受－巻きブシュ JIS 原案作成分科会議事録
- ③JIS X XXXX-1 滑り軸受－巻きブシュ 第 1 部：寸法 原案
- ④JIS X XXXX-2 滑り軸受－巻きブシュ 第 2 部：外径と内径寸法の検査 原案
- ⑤JIS X XXXX-3 滑り軸受－巻きブシュ 第 3 部：油穴、油溝及び油溜まり 原案
- ⑥JIS X XXXX-4 滑り軸受－巻きブシュ 第 4 部：材料 原案

<回覧資料>

特になし

<議事>

1. 前回議事録の確認

内容を確認し、委員会で承認された。

2. JIS 原案作成作業

JIS 原案の進捗についてパート 2、パート 3、パート 4 について確認した。

(パート 1 はグループ員不在のため、確認作業は見送った。)

・引用規格について

下記に示す規格に相当する JIS 規格は無いことから、ISO 規格を引用する。

- ①ISO 12301; Plain bearings－Quality control techniques and inspection of geometrical and material quality characteristics
- ②ISO 13715; Technical drawings－Edges of undefined shape－Vocabulary and indication

・図と表の説明について

図表の説明は以下の通りとする。

“表 1 参照”のみではなく、“この規格で用いる記号及び単位は、表 1 による。”などと説明書き設けること。

・brake edge について (パート 1 とパート 2 図中)

糸面取り、C0.1 以下など意見が出たが、JIS 規格、JASO 規格、ISO 規格それぞれの内容を確認し、次回委員会には大筋の意見を定めることとした。

・ブリネル硬さの表示について

ISO 3547 ではブリネル硬さは HB 表示となっているが、硬さの ISO 規格である ISO 6506-1 では、既に HBW 表示に変更になっている。そのため、滑り軸受に関する硬さの ISO 規格 ISO 4384-1 の硬さ表示も近々 HBW への変更が推定される (JIS 規格では HBW 表示となっている、圧子に超

硬合金球を使用)。

よって、本 JIS 規格においても、硬さ表示は HB ではなく HBW 表示した方が望ましいのではと、花房委員より提案された。

・材料表記について (パート 4)

ISO3547 と類似する JIS 規格は下記の 3 点となる。

①CuSn8P → JIS H 3110、表記名 C 5212

②CuPb10Sn10(鑄造) → JIS H 5120、表記名 CAC603

③SnSb8Cu4 → JIS H 5401、表記名 WJ1

これらについては、以下の案にて次回委員会で検討し、表記について決める事となった。

(1) ISO 表記と JIS 表記の混在とする。

(2) ISO 表記のままとする。

(3) JIS 表記の分に関しては、JIS 表記を使用する。

・その他

細かな日本語の修正等は日本規格協会にて確認頂く。

また、今後、各パートの進捗具合を確認する意味も含めて、事前に日本規格協会 山田様に規格案を確認頂くこととする (委員会終了後に決定)。

3. 次回開催日

- ・第 5 回滑り軸受－巻きブシュ－JIS 原案策定委員会：5 月 26 日 (月) 13:30～17:00 まで
日本機械学会 第二会議室
- ・第 2 回滑り軸受－巻きブシュ－JIS 原案本委員会：2008 年 6 月あるいは 7 月頃開催予定

以 上